

令和3年度の通学路安全対策実施箇所及び対策状況一覧表

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	要望	重点箇所	状況・方針
R1-1	町道 (鶴田池野線)	池野	学校前を通過する自動車の速度が速く、スクールゾーンや路面の減速表示等の表示をお願いしたい。また、歩道の定期的な草刈りをお願いしたい。	会見第二小		歩車道分離、横断歩道の移設、通学路標識等の設置など対応済みです。学校から児童への指導をしています。
R1-2	町道 (天万宮前線)	天萬	学校の正門前が車の運転者に分からない状況で、過去に自転車と車の事故や急ブレーキ事案もあり危険である。また、正門前に限らず、道幅が狭く路側帯もない道路が続く。道路に面した家屋で、倒壊が心配される家屋がある。	南部中		現道路状況ではゾーン30の規制はかけられないため、路面標示による安全対策を施しています。学校から生徒への指導を徹底するとともに、交通安全を啓発する看板の設置を検討しています。
R1-3	町道 (浅井縄平線)	市山	星川橋から学童に至る区間で、側溝と用水路が深く危険であるので安全対策をお願いしたい。側溝では過去に児童が転落したこともあります。	あいみ児童クラブ		通勤車両等の通過交通と、通学児童生徒及び水路との危険性について、事業化に向けて実態調査を行います。学校からは児童への指導を継続して行います。
R1-4	町道 (原・奥絹屋線)	西	伯太町からの車の往来が多く、道路幅が狭いため通学路として大変危険であることから安全の確保を早急をお願いしたい。	西伯小		道路拡幅、側溝整備の検討を行う。
R2-1	県道 (溝口伯太線) 県道 (市山伯耆大山停車線)	市山	県道160号線との交差点には防犯灯があるが、それ以降は各方面の道路に防犯灯が無い。特に朝金方面には600m以上にわたり民家や防犯灯がない。	南部中		LED防犯灯やソーラーライトの設置を検討します。また、引き続き生徒には下校時刻が遅くならないよう指導します。
R2-2	町道 (宮前諸木1号線)	宮前二区	百田橋〜サワダ鉄工所間は、通学路であるにもかかわらず、高速で通過する車両が多々あるので、速度抑制対策を行って欲しい。	新たな観点		通学時の安全確保にむけて、公安委員会に当該区間道路の時間規制等の依頼を行っていきます。学校は通学児童生徒への指導を行っていきます。
R2-3	町道 (阿賀東西町線)	福成	中学校の通学路となっているが、自転車の通学路として整備されておらず危険である。「ガードレール」又は「歩道」の設置が必要。	東西町		通学路としての安全対策が必要な箇所との判断から、来年度以降の事業化に向けて事業要望を出しています。また、学校から生徒への指導をしています。
R2-4	町道 (三本木・阿賀・柏尾線)	福成〜法勝寺	中学校の通学路において夜間照明のない法勝寺川周辺は特に防犯上不安であり設置をお願いしたい。	天津協議会		堤防の掘削が必要な基礎付きの防犯灯設置は河川管理上困難です。学校からは、生徒に対して下校時間が遅くならないよう継続して指導します。
R2-5	町道 (法勝寺・馬場・徳長線)	法勝寺	当該箇所は視認性が悪く、車止めを設置しているものの、下校時の坂を下る自転車と一般車両の接触を危惧する	法勝寺中学校		カーブミラーの調整を行いました。学校では、校地内路面表示等の安全対策を施す予定です。また、教職員による下校指導を行い生徒の安全確保に努めます。
R2-6	町道 (町道諸木線支-3)	諸木	小学生の通学路でもある県道からの進入路が狭く、事故が発生しかねない状態にあるので、視距改良も含めた拡幅工事をしてほしい。	諸木		県道側の町道路肩整備による部分拡幅の事業化を検討します。また、車両の道路侵入に係る見通しについては、カーブミラー設置により対応済みです。
R2-7	国道 (180号線)	能竹	過去に交通事故も発生しており危険なため歩道設置をお願いしたい。	能竹		歩道設置及び道路拡幅を検討します。
1	県道 (米子岸本線)	天萬	交通量が多い道路の、信号のない横断歩道のため、児童が横断する際に危険がある。	会見小		安全対策としての信号設置等の要望を継続して行っていきます。また、学校から児童生徒への指導をするとともに、通学路看板の設置を予定しています。
2	県道 (米子岸本線)	諸木	交通量が多い十字路の、信号のない横断歩道のため、児童が横断する際に危険がある。	会見小		安全対策としての信号設置等の要望を継続して行っていきます。また、学校から児童生徒への指導をするとともに、通学路看板の設置を予定しています。
3	町道 (天万線 支-1)	天萬	登下校時の交通量が多く制限速度以上で往来している車も多い。雨天時は視界も悪くきわめて危険である。路側帯や横断歩道の路面標示が見えにくくなっている。また、道幅が狭く路肩も狭いため、児童・生徒の通学時に危険がある。通学路であることの表示がない。	会見小 南部中	○	横断歩道は塗り直しを行いました。また、通学路の安全確保のために、公安委員会に該当道路の速度規制変更の依頼を行っています。学校からは児童生徒への指導をしています。
4	町道 (福成・境線)	福成	横断歩道が消えかかっている。	西伯小		横断歩道の再塗布を年度内に行う予定です。
5	国道 (180号線) 西伯小学校入口交差点	法勝寺	歩道の幅が狭いため信号待ちをしている人が右左折をする車に巻き込まれる危険性がある。	西伯小	○	信号待ちの人を守るガードポールを交差点に面した歩道4箇所に設置しました。また、学校から児童への指導をしています。
6	町道 (天万宮前線)	天萬	通学路に面した作業場が、トタン屋根が吹き飛んで落ちるなど危険。改善に向けて区長が現地訪問を重ねるも、全く所有者との接触が出来ない状況。	手間山		該当箇所の現況の危険性を踏まえ、小学校の通学路変更を行いました。また、当該家屋に老朽危険家屋対策を適用して対策を進めていく予定です。
7	町道 (清水線)	法勝寺	朝の通学時間帯で通勤車両の抜け道になっている。通勤車両のため通過速度が高い上、幅員が狭く普通車の擦れ違いが困難な箇所があり、交差点部などが待避所になっている。	新たな観点	○	道幅が狭く車両のすれ違いが困難な箇所も複数ある現状を踏まえ、通学時の安全確保にむけて、当該区間道路の時間規制等の依頼を行っていきます。学校は生徒への指導を行うとともに、通学路看板の設置を予定しています。
8	国道 (180号線)	倭二区	国道180号のローソンから西伯病院までの区間に歩道が必要(通行量も多く、極めて危険なため)。今夏の通学路の点検実施においても歩道の必要性が指摘されている。	大国	○	歩行者の安全確保に向けて、ローソンから西伯病院の区間での歩道設置事業に着手しています。